

交通事故分析 インフォメーション



死亡・重傷リスクが高いのは どんな事故？

(その①:発生月、時間、昼夜、曜日、道路形状)

交通事故でけがをした時、発生場所や時間、事故形態等により、死亡する・重傷を負う割合は変わってきます。

どのような交通事故が、死亡・重傷リスクが高くなるのでしょうか。

今回は、発生月、時間、昼夜、曜日、道路形状について調査しました。

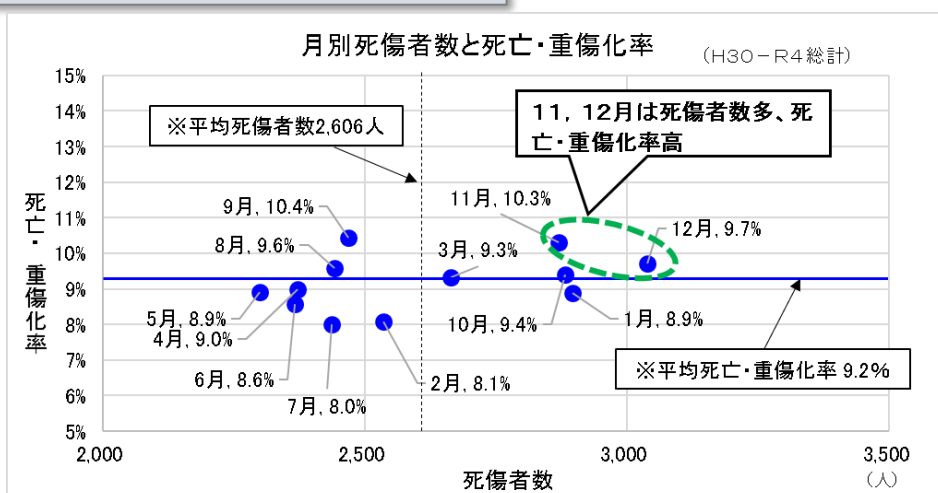
※過去5年(H30年～R4年)の交通事故データをもとに分析、数値は5年間合計数

※死亡・重傷化率 = (死者数 + 重傷者数) / 死傷者数

発生月別

11月、12月は、死傷者数も多く、死亡・重傷化率も高くなっています。

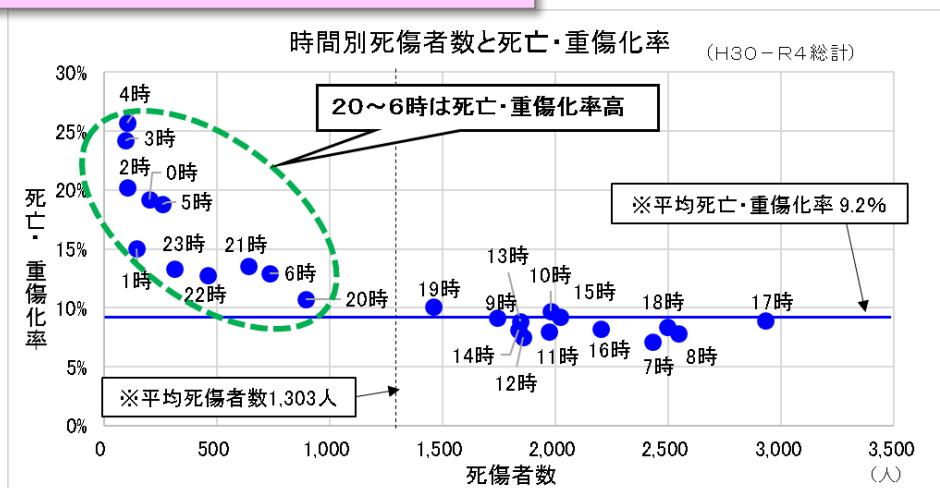
➡ 11月、12月は特に注意！



時間別

20時から6時までの夜間帯は、死傷者数は少ないですが、死亡・重傷化率は高くなっています。

➡ 20時～6時は要注意！





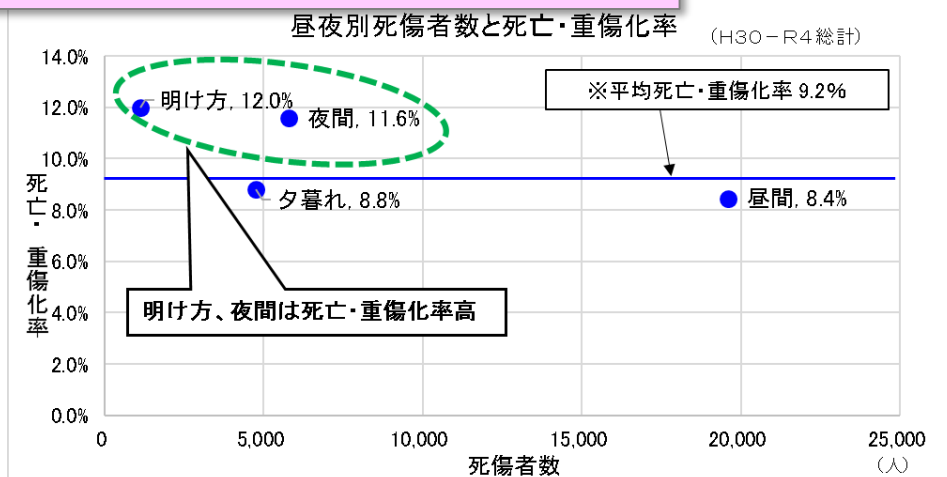
昼夜別

※ 明け方：日の出前後各1時間以内、夕暮れ：日没前後各1時間以内

明け方及び夜間は死傷者数は少ないですが、死亡・重傷化率は高くなっています。



**明け方、夜間は
要注意！**



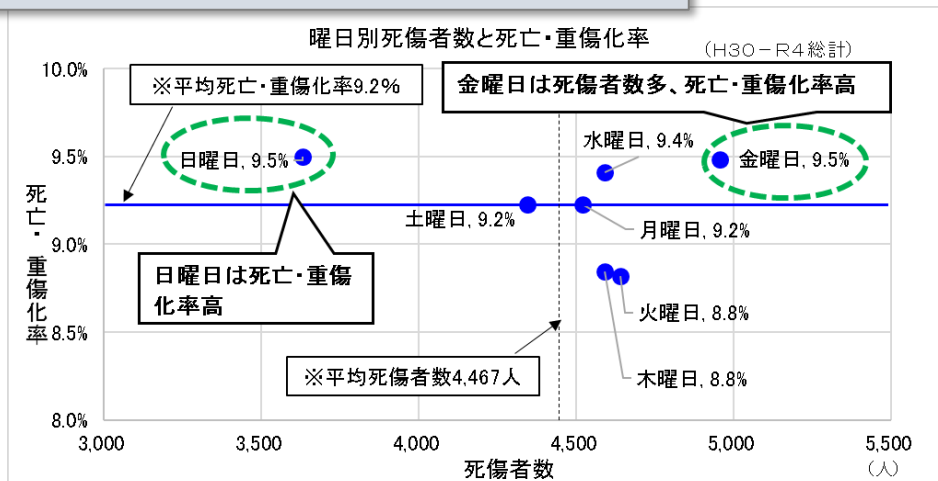
曜日別

金曜日は死傷者数が多く、死亡・重傷化率も高くなっています。

日曜日は死傷者数は最も少ないですが、死亡・重傷化率は高くなっています。



**金曜日は注意！
日曜日も危ない！**

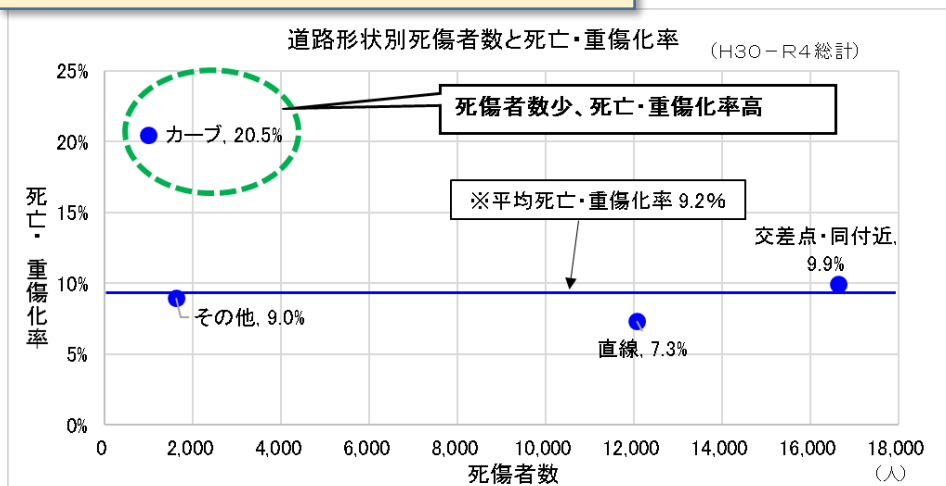


道路形状別

カーブは死傷者数は少ないですが、死亡・重傷化率はとても高くなっています。



カーブでの事故は危険！



その②へ
続きます。